

技能試験実施委員会（平成 29 年度第 2 回）議事録

日時：平成 29 年 12 月 26 日（木）13:30～17:00

場所：地盤工学会会議室 3F 中会議室

出席者：日置委員長，澤，中山，沼倉，藤原，山内，城野，保坂

配布資料：2-1～2-7

議題：

1. 技能試験実施委員会 活動検証・再評価WG 報告（資料 2-1, 2-2, 2-5, 2-6, 2-7）

- ・日置委員長がこれまでに活動検証・再評価WG で検討された内容を報告した。
- ・次回の基準部会（H30.1.15 開催予定）にて，活動検証・再評価WG の成果が報告される。
「技能試験に対する理事の根本的な疑問・誤解を解消するための対応」として，以下の資料を作成し説明する。

① 参加機関の推移と地盤材料試験の変動係数（資料 2-2）。

② 技能試験継続による参加機関の意識改善効果（資料 2-2）

③ 均質性確認試験結果と技能試験結果（中央値）の関係

均質性確認試験は、ISO 17025 を取得している関西地盤環境研究センターが実施しており，真値に近い値と考えることができる。一方，技能試験では，中央値を付与値（仮の真値）としている。均質性確認試験結果と技能試験結果（中央値）が一致していれば，中央値を付与値（仮の真値）とする現在の評価方法に特に問題はないと考えられる。逆に，両者が一致していない場合は，理事会が指摘するように，現在の評価方法に問題があるのかもしれない。中山委員が過去 5 ケ年の均質性確認試験結果（平均値）と技能試験の中央値が比較できる一覧表を 1 月 5 日までに作成し，日置委員長に送る。

2. 平成 29 年度報告書の確認（資料 2-3, 2-4）

- ・報告書第 1 章～第 5 章（資料 2-3）を中山委員が，第 6 章（資料 2-4）を日置委員長と沼倉委員が説明した。確認の結果，以下の修正箇所の指摘と修正指示があった。
 - a) 第 3 章 3.3.2 均質性の検討：引用文書・グラフの出典を明記する。
 - b) 第 6 章全般 参加機関からのコメントに機関番号を付ける，付けない，あるいは付ける場合の表示方法を担当者間で打合せ，統一したものとする。
 - c) 図 6.27 と図 6.28 のキャプションが見えないので，見えるよう修正する。
 - d) 図 6.71 「分散量」を「分散剤の量」に修正する。
 - e) 表 6.5 液性限界・塑性限界，(3)今回の試験に使用された装置，器具，3.液性限界
 - f) 試験機 ⑦「使用前点検」⇒「校正」に修正する。参加機関からも同じ指摘がある。
- ・修正版を 1 月 12 日までに中山委員に送る。
- ・1 月 15 日の基準部会に報告書(案)として，回覧してもらう。
- ・報告書発行までのスケジュールを学会事務局と打ち合わせる。

3. 第 53 回地盤工学研究発表会 投稿案

- ・地盤ジャーナルへの投稿も考慮し，以下のようにする。

① 技能試験の総括（アンケート含む）（発表：日置，連名：中澤，沼倉，若杉，中川）

② 配付試料の均質性（発表：澤，連名：服部，城野，保坂）

③ 均質性確認試験結果と技能試験結果（中央値）の関係

（発表：中山，連名：藤原，山内，渡辺，稲積）

（文責：中山 2017. 12. 27）